



＼宝の山!?!／

国立の研究機関による 企業への技術支援のご紹介

国の研究機関(国研)は最先端の研究開発だけでなく、地域の中堅企業や団体等への技術支援も行っていることを御存じでしょうか？特に、産業に近い研究開発や産学連携の推進を行っている産業技術総合研究所(産総研)、農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)、科学技術振興機構(JST)では、企業・団体等の課題・ニーズの内容や事業化に向けたフェーズに応じて、技術相談、共同／受託研究、試料・データ等の提供、人材育成等の幅広い支援を行っています。また、国や地方公共団体が行う土木事業に関する調査・研究・支援等を行う土木研究所(土木研)では、企業に対しても、公募による共同研究や施設貸し出し、革新的社会資本整備研究開発推進事業等により技術開発を支援しています。

国研の支援を受けることにより、企業や団体等は、自社のみでは困難であった新製品の開発や技術課題の解決を実現できたり、その実現までの期間を自社単独で取り組む場合よりも短縮できる可能性があります。また、製品化や課題解決、技術基準化が図られた場合は、国研から成果事例として広くPRされます。

各国研とも支援実績は豊富で、新製品の開発や生産効率の向上等の成果事例も数多く生まれていますので、是非お気軽に御相談ください。

2019年度支援実績(一部抜粋)

産総研	農研機構	土木研	JST
<p>中堅企業等からの技術相談</p> <p>1002件</p> <p>中堅企業等との共同研究</p> <p>333件</p> <p>中堅企業等との受託研究</p> <p>31件</p>	<p>中堅企業等からの技術相談</p> <p>305件</p> <p>中堅企業等との共同研究</p> <p>213件</p> <p>中堅企業等との受託研究</p> <p>19件</p>	<p>中堅企業等との共同研究</p> <p>16件</p> <p>中堅企業等への保有施設の貸し出し</p> <p>12件</p>	<p>研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)における中堅企業支援数</p> <p>142課題</p> <p>マッチングプランナーによる中堅企業等訪問・面談</p> <p>約1,500件</p> <p>地方経済産業局等と合同での公募説明会開催</p> <p>約130回</p>
 <p>木材の流動成形による”竹のスピーカー振動板”開発 チヨダ工業株式会社(プレス金型製造業)との共同開発事例</p>	 <p>ガーリックトリマー 株式会社ササキコーポレーションと共同で熟練の技術を要しない安全なニンニクの盤茎調整できる装置を開発</p>	 <p>WEPシステム(気液溶解装置) 松江土建株式会社(所在地:島根県松江市)と土木研究所が共同で開発した水質保全装置。ダム貯水池や湖沼等の深層部に高濃度に酸素を溶解させた水を供給することで、湖底からの有害金属やリンの溶出を抑制し、水質を保全するもの。</p>	 <p>会津天宝醸造株式会社(福島県会津若松市)／鈴木賢二(福島県ハイテクプラザ)琉球大学での臨床研究成果を活かし、メタボリックシンドロームに有効な玄米あまざけを開発・提案。</p>

各国研の詳細については裏面をご覧ください。



産総研は、全国11カ所の研究拠点に約2300名の研究者を有する、我が国最大級の公的研究機関です。日本の産業や社会に役立つ技術の創出とその実用化や、革新的な技術シーズを事業化に繋げる「橋渡し」に注力し、7つの研究領域という多様性を総合的に生かして、世界に先駆けた社会課題の解決に向け、産業界や社会、国との連携を深め、社会的・経済的価値につながるイノベーションの創出を目指します。まずは技術相談から！是非ともご相談ください。

エネルギー・環境領域

エネルギー・環境問題の解決を目指して

生命工学領域

健康で活力のある長寿社会と持続可能な社会の実現を目指して

情報・人工知能領域

ロボット・人工知能～人と共栄する情報技術

材料・化学領域

機能性化学品の付加価値向上と新素材実用化

エレクトロニクス・製造領域

変化する「ものづくり」をリードする革新技術

地質調査総合センター

安全で豊かな社会を支える地質情報

計量標準総合センター

日常生活から先端産業までを支える計量標準

▼詳しくはWEBで

産総研



農業と食品産業について幅広い研究を行っています。

農研機構は、農業・食品分野における科学技術イノベーションを創出して、「食料自給率の向上」・「農業・食品産業の競争力強化」・「農業の生産性向上と環境保全の両立」を目指す国立の研究機関です。農研機構では、民間企業の皆様方のニーズに応じた研究開発や研究成果の社会実装を積極的に推進するため、共同研究制度、受託研究制度、技術相談制度などの様々な連携制度をご用意していますので、是非、皆様方のご利用をお待ちしています。

生産現場の強化・経営力の強化

農業の担い手の減少や高齢化といった営農現場が抱えるさまざまな課題を解決し、農業経営の規模拡大と法人化を応援するための革新的な技術開発を通じて、地域の条件を活かした活力のある水田作畑作農業と畜産業を実現します。

強い農業の実現と新産業の創出

生産者にも実需者にも消費者にもメリットをもたらし、日本農業を強くする作物の新品種の育成と、新特性シルクなど新産業の創出につながる生物新素材を開発します。

農産物・食品の高付加価値化と安全・信頼の確保

おいしく、健康的で、安全かつ信頼できる農産物を国民に提供するための研究開発を目標としています。

環境問題の解決・地域資源の活用

温和な気候、豊富な水資源、肥沃な大地、美しい農村景観など、農業を行う上で恵まれたわが国の自然環境を、気候変動を始めとするさまざまな環境変化から守り、災害対策基本法等に基づく指定公共機関としての役割を果たすと共に、農業を持続可能とするための技術開発を行います。

▼詳しくはWEBで

農研機構



良質な社会資本の効率的な整備に貢献すべく、土木技術に関する研究開発を行っています。

土木研究所は、国土交通省が所管する国立研究開発法人であり、道路・河川等の土木事業等を支える調査研究、国や地方公共団体等への技術支援を行っています。効率的・効果的に研究開発を推進するため、民間企業や大学等の研究機関と連携し、共同研究等を行っています。また、土木研究所が保有する実験施設・装置等については、業務に支障のない範囲での貸し出しを行っています。土木研究所のウェブサイトにて技術相談窓口を設置していますので、お気軽にご相談ください。

地質・地盤分野

地盤・岩盤、のり面斜面、土工構造物等の幅広い研究

水環境分野

人の活動に伴い様々なインパクトを受ける河川や湖沼の研究

水工分野

ダムの水理設計、水文観測技術

道路技術分野

道路ストックの効率的な整備と最大限の活用を目指して

土砂管理分野

土砂災害の事前・応急・恒久対策

水災害分野

水災害の被害軽減と国際貢献

橋梁構造分野

道路橋等の健全な維持管理、地震対策

材料資源分野

土木材料の高度化、建設廃棄物等のリサイクル

建設機械分野

ICT施工、ポンプ場などの機械設備マネジメント

▼詳しくはWEBで

土木研



世界トップレベルのネットワーク型研究所として、未来共創イノベーションを先導します。

JSTは、科学技術の振興と社会的課題の解決のために、さまざまな事業を総合的に実施しています。産学連携・技術移転支援事業では、大学等で生まれた研究成果を活用して、技術的問題を解決したいとお考えの企業からのご相談を受け付けています。全国5カ所を活動拠点とするマッチングプランナーが、企業と研究者の間に立ち、幅広い技術分野を対象として、企業ニーズと大学シーズとのマッチング、技術移転を支援する研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)への申請相談等に対応します。

研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)

大学・公的研究機関等で生まれた科学技術に関する研究成果を国民経済上重要な技術として実用化することで、研究成果の社会還元を目指す技術移転支援プログラムです。

A-STEP 相談窓口

「企業ニーズ」「地域ニーズ」実現へのお悩み、是非ご相談ください。技術的課題の解決をJSTがサポートします。

イノベーション・ジャパンー大学見本市

国内最大級の産学マッチングのチャンス「イノベーション・ジャパン」において、日本全国の大学等から創出された研究成果の社会還元、技術移転を促進します。

新技術説明会

新技術や産学連携に関心のある企業関係者に向けて、大学等から生まれたライセンス可能な特許技術を、発明した研究者自らが説明します。

▼詳しくはWEBで

JST

